5. 対象事業所からの排出量を除いた排出量による大気拡散計算の実施[計算結果1]

ここでの作業は、前節で作成した対象事業所の排出量を含まないグリッド排出量データを用い て、大気拡散計算を行い、対象事業所が位置するところの濃度を知るものです。

- 1) ADMER を起動させます。以下は、ADMER での操作です。
- 2) 計算範囲を決定します。
- 3) 気象データを作成します。
- 4) ADMER で計算します。
- 5) 計算結果から対象事業所が位置するところの濃度を知ります。

5.1. ADMER を起動

ADMER のインストールが正常終了すると、デスクトップにアイコン ますから、これを選択して実行させます。

ADMER 20.2 ができてい

ADMER		_ 8 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(G	C) 設定(T) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	
D 🗳 🖻 🗙 🛃 📕 🕒		
計算範囲:関東	計算範囲情報 結果表示地点 指標データ 行政コード サブグリッド 背景データ	
■◆計算範囲	〈計算範囲情報〉	
	計算範囲名 : 関東 計算範囲 経度 : 138°18'45″ - 140'56'15″ 緯度 · 34'50'00″ - 37'10'30″	
	計算メッシュ数 : X - 42, Y - 57 計算対象都道府県: 茨城県,栃木県,群馬県,埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県	
データ名 ⑦気象データ ● 排出量データ ■計算データ		
	計算範囲表示	

図 5.1-1 ADMER Ver2.0.2 起動した後の画面

5.2. **計算範囲の設定**

計算範囲を設定します。計算範囲は、範囲左下の緯度、経度と右上の緯度、経度を指定します。

東西 138度41分157	秒 140度56分15秒
南北 34度50分0秒	36度17分30秒

表 5.2-1 計算範囲

注意 旧測地系です。

- ファイル(F) ⇒ 新規計算範囲(P) として、計算範囲新規作成画面を表示させます。計 算範囲新規作成画面で千葉県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県チェックボックスを クリックします。ADMER は指定した県を対象に濃度計算を行います。計算範囲名に名 前を入れます。例えば、計算範囲1。(図 5.2-1(1))

ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(T) ADMERデータアップデー	17.63 0.01 -97/113			
	ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 設定(D) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)				
計算範囲:北海道 🗾	↑算範囲情報 結果表示は	也点 指標データ 行	〒政コード サブ:	グリッド 背景データ	
 ● 計算範囲 ● 計算範囲 ● 算気家データ ● 算出量データ ● グリッド排出量う ● サブグリッド排出 ● 計算データ 	 計算範囲情報> 計算範囲名 計算範囲 計算範囲 計算範囲が現住 計算対象部 計算範囲名: 	、成 囲の名前を入力し、計算対参 計算範囲1	象とする都道府県を選択	れてください	
 ✓ ✓ ✓ ✓ ✓<!--</th--><th>計算対象都道 計算対象都道 工者時用 若時用 若時用 若時用 二品時用 「私知県 「日本日 「日本日 <!--</th--><th>府県: 文神奈和県 、「神奈県県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 三世 一面北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田田 二面田田 一面田田 二面田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田</th><th>送賀県</th><th>香川県 宮辺県 福田賀県 長能本県 宮印県県 東京小寺県 夏虎児島県 沖縄県</th><th></th></th>	計算対象都道 計算対象都道 工者時用 若時用 若時用 若時用 二品時用 「私知県 「日本日 「日本日 </th <th>府県: 文神奈和県 、「神奈県県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 三世 一面北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田田 二面田田 一面田田 二面田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田</th> <th>送賀県</th> <th>香川県 宮辺県 福田賀県 長能本県 宮印県県 東京小寺県 夏虎児島県 沖縄県</th> <th></th>	府県: 文神奈和県 、「神奈県県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面山県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 一面北県 三世 一面北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田北県 一面田田 二面田田 一面田田 二面田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田 二田田	送賀県	香川県 宮辺県 福田賀県 長能本県 宮印県県 東京小寺県 夏虎児島県 沖縄県	
			(4 戻る)	次へ=> キャンセル	

図 5.2-1(1) 計算範囲新規作成画面(1)

ADMER		
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算()) 設定(I) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	
計算範囲:関東	計算範囲情報 結果表示地点 指標データ 行政コード サブグリッド 背景データ	
□◆計算範囲 → 気象データ □● 排出量データ	<計算範囲情報>	
■ 計算データ	計算範囲者計算範囲新規作成	
	計算メッシ 計算対象とする範囲の緯度経度を設定してください。 計算対象都	
	東西範囲: 139*37'30 - 140'56'15 -	
	南北施⊞: 34~50~00~ - 36~05~00~ -	
<u>データ名</u> 学気象データ ●排出量データ ■計算データ	左下三次メッシュコード: 5239-25-00 右上三次メッシュコード: 5440-17-05	
	(- 戻る) (次へ =>) キャンセル	
1		

図 5.2-1(2) 計算範囲新規作成画面(2)

3) 表 5.2-1の数値に修正します(図 5.2-1(3))。

4)
を押すと、「以下の内容で計算範囲を作成します。」と確認してきます。

5) 範囲作成を押します。

計算範囲新規作成
計算対象とする範囲の緯度経度を設定してください。 直す。入力欄石の矢印で操作す る。
東西範囲: 138°41'15″ → - 140°56'15″ →
南北範囲: 34*50'00" - 36*17'30" -
左下三次メッシュコード: 5238-25-05
右上三次メッシュコード: 5440-37-55
(= 戻る) (次へ =>) キャンセル

図 5.2-1(3) 計算範囲新規作成画面(3)

5.3. 気象データ

対象範囲の作成が終わったら気象データを作成します。

気象データの作成では、AMeDAS 気象データ CD-ROM が必要となります。購入先は、財団法 人気象業務支援センターです。<u>http://www.jmbsc.or.jp/hp/offline/cdoff1.html</u>から、リンク先の「ア メダス観測年報」を参照ください。1976 年から 2003 年までの観測値は「アメダス再統計値」に 収録されており、2004 年から 2006 年までの観測値は各年 1 枚の「アメダス年報」に収録されて います。リンク先の「収録期間や価格」の確認をしてから、購入の申し込みを行ってください。

2004年4月から2005年3月を対象とした気象データの作成を例にとって説明します。

ADMER では3種類の気象データ作成機能がついていますが、その中の「期間平均気象データ」 を作成します。

「期間平均気象データ」を作成するときは、複数年のアメダス観測年報が必要となり、全ての 年のアメダス観測年報をハードディスクに複写しておかなければなりません。

ADMER Ver2.0.2 では、2005 年以外のデータを扱う場合は、ダウンロード機能を用いて日射量、 雲量及び放射収支量データを入手してください。

気象データの種類	例	ガイドブックで使用するデ ータ
基本気象データ	2004 年 1 月から 12 月まで 12 ヶ月分の基本気象データ	使用しない
期間平均気象データ	2004年4月1日から2005年3 月31日までを平均化し1つに まとめた期間平均気象データ	使用する
複数年の毎月平均データ	1995 年から 2005 年の月毎に 平均化した毎月平均気象デー タ	使用しない

表 5.3-1 ADMER が作成する気象データとガイドブックで使用する気象データ

1) 図 5.3-1(1)の画面左側にある 気象データ を選択して、気象データディレクトリを表示させます。

A ADMER	_ 8 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 設定(D) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(E)	
計算範囲:計算範囲1 ▼ 気象データディレクトリ	
 ○●計算範囲 >ジ気象データ ●● 排出量データ ● グリッド排出量5 ●● サブグリッド排出量5 ●● サブグリッド排出 ●● サブグリッド排出 ●● サブグリッド排出 	
▲ データ名	
 ▲ 基本データ作成 拡張データ作成 	

図 5.3-1(1) 気象データディレクトリ 画面

2) ADMER データアップデートを押して、放射収支量データ更新を選択します。



図 5.3-1(2) ADMER データアップデート

3) データダウンロード画面から 2004 年を選択し、 URL からダウルーF(D) を押してく ださい。ダウンロードが開始され、画面中のプログレスバーに進行状況が表示されます。



図 5.3·1(3) ADMER データアップデート データの選択



図 5.3-1(4) ADMER データアップデート ダウンロードの完了

4) <u>拡張データ作成</u> を押して、拡張気象データ作成画面を表示させ、ある期間の全ての平 均データのラジオボタンをチェックします。

ADMER		. 8 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(T) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	
De ext like,		
計算範囲:計算範囲1 💙	気象データディレクトリ	
□ # #0□	〈気象データ情報〉	
□ 🌡 排出量データ	総データ数:0	
	が進気免チー 」	
	BOR AGE J - 21 FDX	
	作成する拡張気象データの種類を選択してください。	
	- データの通知	
	 ある期間の全ての平均データ 	
データ名		
	○ 複動在の日ごとの平均データ	
	<u>金平デーダTFDX</u> <u>加速デーダTFDX</u>	

図 5.3-1(5) ある期間の全てのデータ

5) なへ => を押すと、元となるデータ種類を指定する画面が表示されます。AMeDAS 及び日射量と雲量(各気象官署)データから作成ラジオボタンをチェックします。

ADMER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(T) ADMERデータアップデード(A) ヘルプ(H)
計算範囲:計算範囲1 ▼	気象データディレクトリ
 ● 計算範囲 ● 気象データ ● 損出量データ ● グリッド排出量デ、 ● サブグリッド排出1 ● サブグリッド排出1 	<気象データ情報> 総データ数:0 <u>拡張気象データ作成</u>
✓ → データ名	データの作成に使用する元データの種類を指定してください。 元となるデータの種類 (MeDAS及び日射量と該射収支量(創野)データ (AMeDAS及び日射量と該射収支量(創野)データ (AMeDASデータのみ
<u>с р</u>	基本データ作成

図 5.3-1(6) 元なるデータの種類選択

6) 次ヘ⇒ を押して、データの期間を指定する画面を表示させ、開始を 2004 年 4 月 1
 日に、終了を 2005 年 3 月 31 日に指定します。

		×
		_
計算範囲:計算範囲1	コ 「気象データディレクトリ	
 ● 計算範囲 ● 計算範囲 ● 気象データ ● 排出量データ ● ガリッド排出量デ、 ● ガブグリッド排出 ● 計算データ 	< <p><気象データ情報> 総データ数:0</p>	
	据朱気能了一 少 作成	
	データの期間を指定してください。	
	開始年月日: 2004 💌 年 4 💌 月 1 💌 日	
	終了年月日: 2005 💌 年 3 💌 月 31 💌 日	
<u>データ名</u>		
	基本データ作成	
		_

図 5.3-1(7) データの期間の指定

7) 次へ=> を押して、アメダスデータフォルダの指定画面を表示させます。フォルダ は、アメダス観測年報を複写したハードディスクのフォルダを指定します。

ADMER	_ 8
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(T) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)
	 「気象データディレクトリ」
□ � 計算範囲	│ 〈気象データ情報〉
- デ	
□ ◎ 14 山里) □ ≫	総データ数:0
- ● サブグリッド排出!	
🕼 計算データ	拉張気象データ作成
	気象データの作成に使用するアメダスデータのフォルダを指定してください。
	アメダスデータフォルダ:
	[mt:27]
データ名	
]
	基本データ作成

図 5.3-1(8) アメダスデータのフォルダの指定

8)	次へ⇒	を押すと、データの確認画面が表示されます。	データ作成	を押します。
----	-----	-----------------------	-------	--------

ADMER ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	該定(T) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	. <u>8 ×</u>
De exe açe,		
計算範囲:計算範囲1 ▼	気象データディレクトリ	
□ ◆ 計算範囲	 <気象データ情報>	
□ ● 静出量データ	総データ数:0	
● グリッド排出量デュ ●● サブグリッド排出」		
🗐 計算データ	拉張気象データ作成	
	以下の内容で気象データを作成します。	
	にEQ3 テノ州間のチェイジョ 元データ種別、AMeDAS及び日射量と雪量(各気象官署)データ	
<u>- 「</u> データ名	作成对象情始年月日:2004/04/01 作成对象统了年月日:2006/03/31	
	アメダスデータディレクトリ: D¥AMEDAS_copy¥hourly	
	よろしければ、「データ作成」ボタンをクリックしてください。	
	キャンセル <= 戻る)次へ => (データ作成)	
	基本データ作成	

図 5.3-1(9) 気象データの確認

9) 作成が完了すると、Period 2004/4/1-2005/3/31 というデータが作成され、画面左側に表示されます。Period 2004/4/1-2005/3/31 を選択すると、情報が表示されます。



図 5.3-1(10) 期間平均気象データ作成 完了

- 5.4. グリッド排出量データの登録
 - ここでの作業は、作成した届出と届出外のグリッド排出量データを ADMER に登録します。
 - 1) ADMER の画面左側にあるグリッド排出量データを選択し、排出量データディレクトリ を表示させます。

A ADMER				
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(G	ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 設定(D) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)			
De exe alle				
計算範囲:計算範囲1 👤	排出量データディレクトリ			
□-● 計算範囲 ->>> 気象データ	<排出量データ情報>			
 → 排出量データ ◆ グリッド排出量う ◆ サブグリッド排出 ● サブグリッド排出 ● 計算データ 	総デーク数:0			
۲				
データ名				

図 5.4-1(1) 排出量データディレクトリ

 ファイル(F) ⇒ 排出量データの登録 を選択して、作成した届出外グリッド排出量デ ータと届出グリッド排出量データを選択します。選択すると、画面左側に表示されます。 例では、届出外_16_キシレンと届出_16_キシレンを選択しています。



図 5.4-1(2) 排出量データ登録の選択

ADMER	*/0) =#=>/T) AD		(A) A (1-9/10)		
		MERTーダアツノナート			
	<u>197</u>] 排出量デー	タディレクトリ	1		
計算範囲: 計算範囲 ▲			1		
□ 🚱 計算範囲	<排出量デー	- タ情報>			1
□ ◎ 掛出量データ	ワイル選択				<u>?×</u>
の グリッド排出	ファイルの場所(1):	admer_input_f_r	nake	💽 🗧 🖻 👘 🎫	
□□●● ワフクリット11 □■●● 計算データ		「届出外_5_アクリル	酸メチルcsv		到届出外
	最近使ったファイル	■ 届出外_6_アクリロ ■ 届出外 7 アセト7	ニトリルcsv フルデドドcsv		3」届出外 ●3〕届出外
		「届出外」8アセトコ	1911 Losv		10月11日
	デフクトップ	▲」届出外_9_二-7%	ノエタノール csv かいせか cosy		NG出外
		「届出外」11 エチレ	ンオキシドcsv		1/18日月
•		高品出外_12_エチレ	ングリコールモノエチルエーテル csv		「国田外
データ名		13 届出外 13 エチレ	ロロヒドリンcsv		131届出外
	3	15=	ニーエポキシブロバン(別名酸化プロピし	ル).csv	1 届出外
	マイ コンピュータ	「届出外」16」キシレ 「「届出外」17 クロロ	ンcsv Tチレン(別名塩化ビニル) csv		③届出外
		18_三-ク	ロロプロペン(別名塩化アリル).csv		1/11日/1
	マイ ネットワーク	•			Þ
		ファイル名(N):	"届出外_16_キシレンcsv" "届出	_16_キシレンcsv″ 💌	開(())
		ファイルの種類(工):	すべてのファイル (*.*)	•	キャンセル
-		u			

図 5.4-1(3) 排出量データの選択

ADMER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(©) 設定(丁) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(出)
De ext 156	
計算範囲:計算範囲1 💌	排出量データディレクトリ
□●●計算範囲 ●●● 計算範囲	〈排出量データ情報〉
 ● 掛出量データ ● ガブリッド排出量す ● サブグリッド排出 ● サブグリッド排出 	総データ数: 2
×>	
データ名 貿届出外_16_キシレン 貿届出_16_キシレン	
選択したデータが表示され る。	
1	

図 5.4-1(4) 排出量データの登録結果

5.5. **大気拡散計算の実行**

ADMER で大気拡散計算を行います。作成した基本気象データ、グリッド排出量データを入力 条件として、設定した計算範囲の濃度計算を ADMER が行います。 1) 画面左側の「計算データ」を選択します。計算ケースディレクトリを表示させます。

ADMER		_ 8 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(G) 設定(I) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	
D 🚅 B X 🗗 💵 B		
計算範囲:計算範囲1 💌	計算ケースディレクトリ	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	40 +	
🍋 グリッド排出量う		
● サブグリッド排出		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	新規計算 CSV出力 削除	

図 5.5-1(1) 計算ケースディレクトリ

 下にある 新規計算 を押し、計算ケース名を入力します。計算物質名については、 表示されている物質名称を確認して、違う場合は物質名を再入力してください。例では、 計算ケース名を「自社排出量を除く計算」、計算物質名を「キシレン」としています。画 面下にある「サブグリッド計算を行う」と「沿岸域を計算対象とする」については、指 定しません。

ADMER					
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 設定(丁) ADMERデータアップデード(A) ヘルプ(H)				
De hxe 156					
計算範囲:計算範囲1 👤	計算ケースディレクトリ				
□-● 計算範囲 	<計算ケース情報>				
□					
サブグリッド排出					
·····································	計算ゲースの基本設定を入力してくたさい。				
	計算範囲: 計算範囲1				
	計算ケース名:自社排出量送除く計算				
	計算物質: キシレン ▼				
•	天:				
計算ケース名					
	サフクリット計具を行う				
	治序域を計算対象とする				

図 5.5-1(2) 計算条件設定 計算ケース名

3) 次へ ⇒ を押して、計算に使用する気象データを選択します。表示されている Period 2004/4/1·2005/3/31 を選択します。

ADMER					
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(T) ADMERデータア	ップデート(百) ヘルプ(日			
Dø ext age	<u>.</u>				
計算範囲:計算範囲1	コ 計算ケースディ	レクトリ			
□●●計算範囲 □●● 計算範囲		2 >			
□ ● 排出量データ	総ケーフ数:0				
- 🍋 グリッド排出量デー	計算条件設定 - 新規計算	Ĩ			1
した サブグリッド排出す		Landstand and the second second			1
- 20 計算テーダ	計算に使用する気象ティ	一夕を選択してくたさい	•		
	名前	種類	データ期間	備考	
	Period 2004/4/1-2005/	'3/31 期間全平均デ·	-タ 2004年 4月 1日~2005	AMeDAS及び日射量と	
計算ケース名					
	at			1.51	
		-			
	計算対象とする気象デー:	몃: Period 2004/4/1-20	005/3/31		
			キャンセル 〈= 戻る	次へ =>	

図 5.5-1(2) 計算条件設定 気象データの選択

 4) 次へ⇒ を押して、計算期間を入力します。開始と終了は 2004 年 4 月 1 日~2005 年 3 月 31 日を選択します。

A ADMER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C)	設定(I) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)
] 計算ケースディレクトリー
「計算範囲・「計算範囲」	
□●●計算範囲 ●●● 計算範囲	<計算ケース情報>
□ ᇦ 排出量データ	総クース物:0
● グリッド排出量デー	計算条件設定 - 新規計算
- 哈 サフクリッド排出す	
	計昇期間を設定してくためい。
	開始: 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平北▼
•	終了: 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平 ▼
	<u></u> キャンセル <u></u> <= 戻る <u>次へ =></u>
	100

図 5.5-1(3) 計算条件設定 計算期間の設定

5) 次ヘ=> を押して、排出量データを選択します。登録した届出と届出外のグリッド 排出量データが表示されますので、同じ物質の届出外と届出の排出量データを選択しま す。例では、届出外_16_キシレンと届出_16_キシレンを選択しています。

ADMER ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(()) 設定(<u>1</u>) ADMERデータアップ	デート(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
計算範囲:計算範囲1 💌	計算ケースディレクト	ע		
□ 🔮 計算範囲	〈計算ケース情報〉			
────────────────────────────────────	6公 左 ∟ つ 米/ ・ 0			
● グリッド排出量う	総クース数・D 計算条件設定 - 新規計算			
	計算に使用するグリッド	「排出量データを選択	してください。	
	名前	物質名	一元データ種別	備考
	☑ 届出_16_キシレン ☑ 届出外 16 キシレン	キシレン	登録データ 登録データ	
		1505	立动,之	
▲				
計算ケース名				
			セル <= 戻る	汝へ ⇒

図 5.5-1(5) 計算条件設定 排出量データの選択

6) 次へ ⇒ を押して、計算パラメータを入力します。物質の計算パラメータは、表 5.5-1
 を参照してください。

ADMER		_ 6 ×
7%(11(E) 編集(E) 表示(S) 計算()	Q) 設定(D) ADMERデータアップデート(A) ヘルプ(H)	
	5	
計算範囲:計算範囲1 💌	計算ケースディレクトリ	
 ● 計算範囲 ● 気象データ ● 4 排出量データ ● ガリッド排出量ラ ● ガブグリッド排出量ラ ● ガブグリッド排出 ● オブグリッド排出 	(計算ケース情報) 総ケース数:0 日 日本条件設定 - 新規計算 計算水与メータを設定してください。 分解(係数 (/sec) 「一律設定 187 ×10 ⁻⁵ ・「律設定 0.0 ×10 ⁰ ・「律設定 0.0 ×10 ⁰ ・「律設定 0.0 ×10 ⁰ ・「 ・「つアイル指定 」 ・ ・ ・ ・ アーアイル指定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
<u>計算ケース名</u>	パックグランド濃度 (#/m ⁻³) 洗浄比(-) ・一律設定 000 ×10 ⁰ (*)-(#設定 3.69) ×10 ⁰ ・ファイル指定 ****	
	生+ンセル <= 戻る 次へ ⇒	
<u> </u>	新規計算 CSV出力 前除	

図 5.5-1(6) 計算条件設定 計算パラメータの設定

7)	次へ⇒	を押すと、	計算内容の確認画面が表示されます。	計算実行	を押しま
	す。				

A ADMER		
ノアイハビ 編集(ビ) 表示(S) 計算(U)	設定(1) ADMERデータ/ツノナード(A) ヘルノ(日)	
	2	
計算範囲:計算範囲1	計算ケースディレクトリ	
□	= <計算ケース情報>	
☆ 気家テーダ □ □ □ 排出母データ		
「「「」」「「」」」	総ケース数:0	
● サブグリッド排出重	計具条件款定 - 新規計具	
🗃 計算データ	設定内容を確認し、計算を実行してください。	
	作成日時 : 2008/05/20 10:17:03	
•	更新日時 : 2008/05/20 10:17:03	
計算ケーフタ		
	→ 「「気象テーダ」 Period 2004/4/1-2005/3/31 計質関始年月 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均	
	計算終了年月 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均	
	排出量データ1: 届出外_16_キシレン[全期間]	
	2: 届出_16_キシレン [全期間]	
	今すぐに計算を開始するには[計算実行]を、計算条件のみ保存し後で計算を行うには[あ	
	とで計算]をクリックしてください。	
	あとで計算	
	++7/2/V <- KO //(× >)	

図 5.5-1(7) 計算条件設定 設定内容の確認

8) 計算が実行されます。計算の進行状況を示すプログレスバーが表示されます。

ADMER	
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 該	定(_) ADMERテータアッフテード(A) ヘルフ(日)
計算範囲:計算範囲1	計算ケース情報
 ● 計算範囲 ⑦ 気象データ ● グリッド排出量データ ● グリッド排出量データ ● サブグリッド排出量う ● 計算データ 	<計算ケース情報> 作成日時 : 2008/05/20 10:17:03 更新日時 : 2008/05/20 10:17:03 計算物質 : キシレン 気象データ : Period 2004/4/1-2005/3/31 計算開始年月 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均 計算終了年月 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均 排出量データ1 : 届出外_16_キシレン (全期間) 2 : 届出_16_キシレン (全期間)
★ 計算ケース名 数自社排出量を除く計算	サブグリ 計算中 < < < 計算バ: う解係数 洗浄比(- バックク 転性沈着 </th

図 5.5-1(8) 計算実行 進捗状況表示

9) 計算が終了すると、計算ケース情報と解析結果のタブが出ます(図 5.5-1(9))。

ADMER							
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 設	定(I) ADMERデータアップデート(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)						
計算範囲: 計算範囲1	計算クラス11月報 肝竹給米						
 □●計算範囲 □-愛 気象データ □-過 排出量データ 	<計算ケース情報> 作は7日時 - 2008/05/20 10-17-03						
🌔 陷 グリッド排出量データ	更新日時 : 2008/05/20 10:17:03						
● サブグリッド排出量う	計算物質 : キシレン						
·····································	気象テーター: Period 2004/4/1-2005/3/31 計算関始年目 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均						
	計算終了年月 : 2004年 4月 1日~2005年 3月31日の平均						
	排出量データ 1 : 届出外_16_キシレン [全期間] 2 : 届出_16_キシレン [全期間]						
	サブグリッド計算:なし						
計算ケース名 ▲ 白社排业長な险 / 計算	〈計算パラメータ〉						
▼日社排击里で味く計昇	分解係数(/sec) : 1.87000E-05						
	洗浄比(-) : 3.69000E+00						
	ハックシラクシー海皮(g/m 5) : 0.00000E+00 乾性沈着速度(m/sec) : 0.00000E+00						
I							

図 5.5-1(9) 計算ケース情報の表示

- 10) 解析結果を選択します。解析結果では、図 5.5-1(10)のように〇で囲まれた箇所を指定してください。注目すべき数値は、日平均の列です。
- 11) 対象事業所が位置する ADMER 計算範囲の東西と南北の位置(図 4.2-4 参照)から、対象事業所が位置するところの濃度を探します。例えば、東西が 22、南北が 24 であれば、 X=22、Y=24 の行の日平均の列の数値が、自社の位置するところの対象事業所以外の寄 与濃度となります。単位は g/m³ですが、1,000,000 倍して µ g/m³になります。

ADMER							_ & ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(S) 計算(C) 認	(定(①) ADMERデータ	IPップデート(<u>A</u>) ヘル:	¢(<u>H</u>)				
	計算ケース情:	報 解析結果	日平均の列を	見る			
	「予労の計算件						
⊡ 🌍 計算範囲	通市の訂弁和	木					
	+ b/	十年市津南	- / =1				u.#+ =1
□ 💩 排出量データ	衣示ナーダ、	人风中振度		0 ビストクライ	+ • 数111衣示	○ 行取区分方	川朱訂
🌕 グリッド排出量データ	XY	日平均[g/	0-4[g/m^3]	4-8[g/m^3]	8-12[g/m^3]	[12-16[g/m^3]	16-20[g/m^3]
🌕 サブグリッド排出量う	19 2	3.45870E-07	4.73913E-07	3.84518E-07	2.65970E-07	2.12473E-07	3,14130E-07
🗐 計算データ	20 2	3.17066E-07	4.29150E-07	3.48111E-07	2.46413E-07	1.98987E-07	2.92009E-07
	21 2	2.60981E-07	3.44766E-07	2.84827E-07	2.15076E-07	1.73518E-07	2.38221E-07
	18 3	5.00778E-07	7.36432E-07	5.68503E-07	3.53220E-07	2.80312E-07	4.27992E-07
	19 3	4.82676E-07	7.05208E-07	5.44239E-07	3.41085E-07	2.74336E-07	4.24095E-07
	20 3	3.88818E-07	5.38140E-07	4.27012E-07	2.98759E-07	2.43364E-07	3.53466E-07
	21 3	3.51882E-07	4.83684E-07	3.80417E-07	2.73077E-07	2.25994E-07	3.24023E-07
	18 4	6.40183E-07	9.70673E-07	7.30279E-07	4.17409E-07	3.30867E-07	5.37369E-07
	19 4	6.82465E-07	1.03212E-06	7.66699E-07	4.24612E-07	3.49980E-07	6.12344E-07
計算ケース名	20 4	5.25506E-07	7.68283E-07	5.84231E-07	3.61256E-07	2.99192E-07	4./1610E-07
◆ 白 対 排 屮 最 を 除 / 計 質	21 4	4.23349E-07	6.01363E-07	4.61640E-07	3.12362E-07	2.61036E-07	3.83457E-07
	19 5	7.33233E-07	1.14070E-06	8.314/IE-0/	4.44207E-07	3.65434E-07	6.29029E-07
	20 5	5.82328E-07	8.09349E-07	6.49649E-07	3.84162E-07	3.22086E-07	5.15014E-07
	21 0	4.75077E-07	5.01020E-07	0.13804E-07	2 021625-07	2.079020-07	4.33772E-07
	10 6	7 522225-07	1 108255-08	9 651525-07	4 626616-07	2.302076-07	8 09/125-07
	20 6	6 13632F-07	9 42445E-07	6 89698E-07	4.020010 07	3 37994F-07	5 14497E-07
	21 6	4 95964E-07	7 225705-07	5 39187E-07	3 54008E-07	3 02155E-07	4 39242E-07
	22 6	4.13931E-07	5.73786E-07	4.38050E-07	3.15712E-07	2.73375E-07	3.84139E-07
	23 6	3.80816E-07	5.22101E-07	3.95411E-07	2.91340E-07	2.54139E-07	3.68132E-07
	19 7	8.83414E-07	1.44378E-06	1.01997E-06	5.27221E-07	4.30174E-07	6.98449E-07
	20 7	7.05030E-07	1.11949E-06	7.95374E-07	4.49496E-07	3.76970E-07	5.70195E-07
	21 7	5.69916E-07	8.68197E-07	6.25188E-07	3.93531E-07	3.36255E-07	4.82263E-07
	22 7	4.93728E-07	7.25372E-07	5.26471E-07	3.55733E-07	3.10555E-07	4.40895E-07 🗾
	•						Þ
						7	
	年月 全計昇;	期間の平均		▶ 時間帝:	日平均	~	
	分布図表テ	膨級設定	「バラフを促た	一口值表云	総軸: 万丁	いに対	
						2 1 KA	
•	再計算	CSV出力	計算メモ編集	削除			

図 5.5-1(10) 解析結果の表示

番号	物質名称	分解係数	洗浄比	自然界濃度 (μg/m ³)	乾性沈着 速度(m/s)
1	亜鉛の水溶性化合物	0.00E+00	9.98E-01	0	0.01836
2	アクリルアミド	1.12E-05	1.44E+07	0	0
3	アクリル酸	9.73E-06	6.61E+04	0	0
4	アクリル酸エチル	1.60E-05	7.21E+01	0	0
5	アクリル酸メチル	9.42E-06	1.23E+02	0	0
6	アクリロニトリル	4.10E-06	1.77E+02	0	0
7	アセトアルデヒド	1.58E-05	3.67E+02	0	0
8	アセトニトリル	2.63E-08	7.09E+02	0	0
9	二・アミノエタノール	3.58E-05	7.52E+05	0	0
10	エチルベンゼン	7.10E-06	3.10E+00	0	0
11	エチレンオキシド	7.60E-08	1.65E+02	0	0
12	エチレングリコールモノエチルエーテル	$1.54 \text{E}{}^{-}05$	5.20E+04	0	0
13	エチレングリコールモノメチルエーテル	$1.25 \text{E}{-}05$	7.41E+04	0	0
14	エピクロロヒドリン	4.40E-07	8.04E+02	0	0
15	ー・二-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	5.20E-07	3.65E+02	0	0
16	キシレン	1.87E-05	3.69E+00	0.3	0
17	クロロエチレン(別名塩化ビニル)	6.96E-06	8.77E-01	0	0
18	三-クロロプロペン (別名塩化アリル)	1.70E-05	2.22E+00	0	0
19	クロロベンゼン	7.70E-07	7.86E+00	0	0
20	クロロホルム	1.03E-07	6.64E+00	0.02	0
21	クロロメタン(別名塩化メチル)	4.36E-08	2.76E+00	0	0
22	酢酸二-エトキシエチル (別名エチレングリコール モノエチルエーテルアセテート)	1.30E-05	7.64E+03	0	0
23	酢酸ビニル	2.50E-05	4.70E+01	0	0
24	四塩化炭素	1.20E-10	8.86E-01	0	0
25	ー・四-ジオキサン	1.09E-05	5.09E+03	0	0
26	ー・二-ジクロロエタン	2.48E-07	2.07E+01	0	0
27	ー・二-ジクロロプロパン	4.42E-07	8.67E+00	0	0
28	オルト-ジクロロベンゼン	4.20E-07	1.27E+01	0	0
29	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	1.42E-07	7.52E+00	0	0
30	N・N-ジメチルホルムアミド	1.75E-05	3.31E+05	0	0
31	スチレン	5.80E-05	8.89E+00	0	0
32	テトラクロロエチレン	1.67E-07	1.38E+00	0	0
33	ー・ー・二-トリクロロエタン	1.96E-07	2.97E+01	0	0
34	トリクロロエチレン	2.36E-06	2.48E+00	0	0
35	ー・三・五・トリメチルベンゼン	5.75E-05	2.79E+00	0	0
36	トルエン	5.96E-06	3.68E+00	0	0
37	ニッケル化合物	0.00E+00	9.98E-01	0	0.01836
38	ヒドラジン	6.50E-05	4.03E+04	0	0
39	フェノール	2.63E-05	7.34E+04	0	0
40	ー・三-ブタジエン	6.66E-05	3.32E-01	0	0

表 5.5-1(1) 計算パラメータ

物質 番号	物質名称	分解係数	洗浄比	自然界濃度 (μg/m ³)	乾性沈着 速度 (m/s)
41	フタル酸ビス (二-エチルヘキシル)	2.20E-05	9.06E+04	0	0
42	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.00E+00	4.25E+01	0	0
43	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	7.74E-06	5.09E+02	0	0
44	ベンゼン	1.23E-06	4.41E+00	0.2	0
45	ホルムアルデヒド	9.37E-06	7.26E+04	0.3	0
46	マンガン及びその化合物	0.00E+00	9.98E-01	0	0.01836
47	無水マレイン酸	1.45E-06	6.22E+03	0	0
48	メタクリル酸メチル	2.60E-05	7.67E+01	0	0
49	アルファ・メチルスチレン	5.20E-05	9.59E+00	0	0
50	メチルー・三·フェニレン=ジイソシアネート(別 名メタ-トリレンジイソシアネート)	7.07E-06	2.20E+03	0	0

表 5.5-1(2) 計算パラメータ

注 1:分解係数は、SRC PhysProp Database(http://www.syrres.com/esc/physdemo.htm)の OH-Rate 値に、OH ラジカルの大気中の濃度(約 10⁶/cm³)を乗じた値とした。 注 2:洗浄比は、SRC PhysProp Database のヘンリー定数を用いて、(気体定数)×(ヘンリー定数 の気温)/(ヘンリー定数) とした。

注 3:乾性沈着速度は、沈降速度 0.00036m/s、千葉県の年平均風速 3.0m/s を用いて、0.00036+0.006 ×3.0 により算出した。

注 4: 亜鉛の水溶性化合物は亜鉛、ニッケル化合物はニッケル、フッ化水素及びその水溶性塩はフ ッ化水素、マンガン及びその化合物はマンガンの物性値を使用した。